

男女共同参画情報誌

あなたとわたし

vol.49
2015. 12月号

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから

特集

福生の女子力



11.5%

※福生市役所の
女性管理職比率は
11.5%。

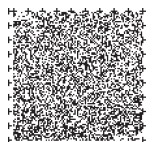
!?



2016年4月から女性活躍推進法が施行されます。

あらゆる分野で指導的地位に占める女性の割合を30%程度にするという、
いわゆる202030が閣議決定されたのが2003年。女性が輝く未来について、
福生市の人たちはどう考えているのか聞いてみました!

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。
専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。
専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。



202030に賛成？ 反対？

女性管理職が増えることについて、どう思っているのか、福生市在住・在勤の方20代から60代の男女50人に聞きました！ 結果は、「賛成」が半数。自由記入のコメントを見ると、「わからない」と答えた人にはさまざまな不安があるようです。

賛成グループ 😊

反対グループ ☹️

わからないグループ 😞

わからない
40%

賛成 50%

反対 10%

😊 女性が指導的地位に就くための環境が整うことに期待して賛成。30%という具体的な目標がある方が弾みがつく。
(30代男性)

😊 賛成だが、女性は物事をはっきり言う傾向があるので、高圧的な女性リーダーが増えるのは怖い。
(20代女性)

☹️ 男女ではなく、人材で判断するべきだと思う。
(40代女性)

☹️ 30%と数値を挙げることに意味があるのか？ 適格な人が選ばれることを目標にすべきでは？
(20代女性)

☹️ 社員に占める女性比率が少ない中で一律30%にすると適性がない人が管理職になることが実際にもあった。
(30代男性)

☹️ 女性の社会的地位の向上には賛成ですが、家庭のことがおそろかになって子どもに悪影響が出ないか心配。
(20代女性)

😊 能力のある女性もたくさんいるので賛成。
(40代男性)

☹️ 性別ではなく適性で選ぶべき。やる気のある人、野心のある人、努力する人が報われるようになってほしい。
(30代女性)

😊 日本は、指導的立場の女性の割合が世界の中でも極端に低いので、ぜひ少しでも増えてほしい。
(30代男性)

😊 賛成だけど、管理職になることで女性の負担が増えたり、未婚や少子化が助長されるのはよくない。
(40代女性)

☹️ 女性には活躍してほしいけど、2020年まで数年しかないから無理では？
(30代女性)

😊 女性ならではの視点を取り入れた方が、新たなアイデアが生まれやすくなるのでは？
(20代男性)

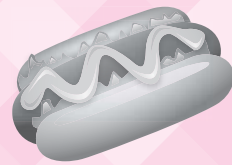
まとめ

女性の地位向上に積極的に賛成の人が多かったのですが、「それによって、女性の負担が増えるのでは？」「数値目標を掲げることで、不適任な人が選ばれるのでは？」という不安を抱いている人も多そうです。「女性の視点が加わることで新しいアイデアが生まれるのでは」という意見もありました。人口の約半数は女性なのに、管理職のほとんどが男性という現状は確かに不自然かもしれません。202030が閣議決定したのは、2003年。あれから12年経ちますが、女性リーダーの比率は未だ1割前後。2016年4月からの女性活躍推進法の施行が後押しとなるか注目したいところです。



福生の輝く女性たち!

「女性が輝く社会を!」を合言葉に、女性の活躍が進んでいます。
でも、福生の女性たちは、そんなことを言われる前から輝いているんです!



事例①

働いて
輝く!

だれもが自分らしく暮らせるために

社会福祉法人 福生ひまわり会
指定就労支援事業所 麦わら帽子 職員
岩崎節子さん

「麦わら帽子」は、在宅の、主に精神障がいをもった方々が、様々な出会いや活動を通して、自立した生活と自分らしさを見つける場です。それぞれが、自分の思いに沿った生活ができるよう、職員はそのきっかけ作りに参加していきます。実際は、利用者の方々と一緒になって様々な困難さと向きあっているところです。

私自身がこれまで勤められたのは、地域のボランティアの方々にも支えられながら、利用者の方々の笑顔に励まされてきたからかな、と思います。誰もが、「自分らしく」働き暮らしていくために、地域に根づいた施設をめざして日々活動していきたいと思っています。



事例②

子育てで
輝く!

家族のことも自分のことも大切に

主婦 2人の女の子の母親 田中さん

出産も子育ても予想外に大変ですが、それ以上に“新しく嬉しい経験”の連続です。妊娠をきっかけに、自然や環境、危険だと感じる道から行政サービスまで、子どもに関することに興味を持つようになりました。また、子どもと外出すると色々な人に声をかけていただきます。たくさんの素敵な仲間もできました。子育てに不安を感じていましたが、経験と仲間のおかげで、出産前よりも確実に度胸がつき、私自身もたくましく成長していると感じます。

夫は、絶対にやめられないと思っていた煙草をやめ、飲み会に行く回数も減らし、家族を第一に考えてくれるようになりました。夫は夫でたくましく成長しているようです。

落ち着いたら建築士の資格を活かして再び働きたいと思っています。働きに出ても、子どもと過ごす時間は大切にしていきたいですね。



事例③

好きなことで
輝く!

手作りイベントでがんばるママを応援!

主婦
ママズカーニバル代表 3人の女の子の母親
野田則子さん

3人目の娘が生まれてから布製のヘアゴムや手提げを作り始めました。よその子や大人からも作ってと頼まれて、2010年からイベントに出展しています。

「福生にはフリーマーケットはあるけど、ハンドメイド市がない」と、とある女性に相談すると「じゃあうちの建物を使っていいからやってみたら?」の一言からママズカーニバルが始まり、定期的に1日イベントを開催しています。

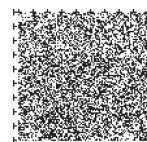
仕事や資格があった人も、ママになると仕事を断念す

る女性は少なくありません。ママズでリフレクソロジーをやってくれた友人もそんな一人。初出店の日、とってもいい顔で施術をしていました。「自分で稼いだ売り上げで飲んだビールが美味しかった!」と言ってくれて、ママズでやりたいことはこれだと思いました。

働きたいのに働けない、ブランクがあって自信がない、そんなママたちが自信をつけ、もう一度社会に出ていくキッカケになれば嬉しいですね。



目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。
専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。
専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。





男の生き方 女の生き方



福生市在住・在勤の方々に聞いた、それぞれの男性観、女性観。

男の生き方

自分のなかにあるアメリカ

70代 男性 志茂在住

戦後間もなく自衛隊に入り、青森の三沢基地で駐屯していたとき、アメリカ兵たちはよく私を挑発してきました。相手にしなくていいものを、血気盛んな年頃だったので、ケンカに明け暮れました。彼らは賢く、警官が来る頃にはやられているフリをするんです。警官は「俺が行くと、いつもあんたが勝っている」と笑っていました。捕まって罰金を支払ったり、留置場にも入りました。

その後、カナダ人の女性と結婚してハワイで暮らしはじめました。よそ者である私たちでしたが、現地の人達は温かく迎え入れ、パーティーやイベントに積極的に誘ってくれました。いまは福生で暮らしていますが、当時からの慣習で、和食より洋食を好んで食べています。

アメリカには何かあれば助けあい支えあう、かつての日本の町会や自治会のような、コミュニティの基盤がありました。これからの日本も、地域や隣近所の関わりや団結力を、大切に受け継いでいってほしいです。

女の生き方

誠意を込めれば相手に伝わる

80代 女性 福生在勤

終戦のとき国民学校の3年生だった私たちは、校庭で教育勅語や戦争に関する教科書を燃やした。担任の女の先生が黒板にアルファベットを書いて「これからは英語の時代になる」と、読み方を教えてくれたことには今でも感謝しているよ。地名の漢字が読めなくても信号機のローマ字表記を読む習慣が身についたからね。

息子が3歳のとき福生に来て、町会やPTA、色んなことをして地域の人と関わってきたよ。知り合いもたくさんできた。よその子どもでも悪さをすれば叱ったねえ。子どもはしつこく言わなくても、何かした瞬間に注意すればちゃんと理解できるんだよ。その子が立派な大人になって「おばちゃん！覚えてる？」と声をかけてくれることが嬉しいね。

40年以上店をやっているけど、在日米軍の軍人や役所の人、色んな人がきてくれた。年をとってもやめないよ。元気でいられるし、自分のすることをちゃんとしていればわかってくれる人がいるから。

編集員を募集しています！

編集に興味がある方、何かやってみたい方！
お待ちしております！
ご意見、情報もお待ちしております！

電話：永井まで！ 042-551-1590

編集後記

誌面づくりは、私たち市民の視点を大事にしたいと考えています。取材やアンケートへのご協力感謝いたします。(田中)

取材と執筆、充実の一週間、さまざまな輝く人たちと出会い、自分はどんなことで輝けるか楽しみです。(谷川)

市民編集員

○田中直美 ○谷川由紀子 ○寺崎敏枝

作製：(有)セイビ印刷所 協力：石井栄子(編集)、青木由佳(DTP)

あなたとわたし vol.49 2015年12月号

発行：福生市 生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話 042-551-1590

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

福生、あきる野で車を借りるなら 拝島レンタカー



詳しくはHPをご覧ください！

拝島レンタカー

検索

ご予約 9:00~20:00(年末年始除く)
042-513-4137